

事業の背景・目的

○国の天然記念物イタセンパラは濃尾平野、富山平野及び大阪平野の一部の地域にしか生息しておらず、今では国内希少野生動植物種に指定されている。絶滅が危惧され、地域における生物多様性保全の観点から保全活動が必要である。
○羽島市内を流れる木曽川に生息するイタセンパラの認識度を高め、保護意識の醸成を図るとともに、地域の宝として持続的な保全活動の推進、監視モニタリングの構築、住民や小中学校などとの地域連携保全につながる体制構築を目指す。

事業の内容

親子参加型事業

- 第5回イタセンパラ塾（台風により中止）
内容：講話、魚類調査体験
- イタセンパラツアー（アクア・トトぎふ）
内容：講話、バックヤードツアー
対象：小学3、4年生

写真：イタセンパラ展示水槽で説明を受けながら泳ぐ様子を眺めるツアー参加者



興味促進事業

- 飼育展示
小学校3校
と図書館

写真左：図書館利用者などによるイラストと水槽
写真右：初めてイタセンパラと出会う児童



地域連携事業

- イタセンパラサポーター制度開始 写真右：チラシ



写真左：市公式HPトップページに掲載



先進事例研究「水辺からはじまる生態系ネットワーク全国会議・全国フォーラム」参加

得られた成果

事業の成果

親子参加型事業

イタセンパラツアー参加者 17名

興味促進事業

小学校1校にて新たに飼育展示を開始

地域連携事業

イタセンパラサポーターの登録者数 126名

活動継続の見通し

新たな飼育展示施設の開拓、市等主催イベントで活用可能なツール作製を行い、を広く周知し認知度の向上を図る。
パトロールを強化し木曽川沿いの監視力の強化、市民の保護意識の醸成を図る。

事業終了後の展開

イタセンパラサポーターを基点として、地域参加型プログラムや親子イベントを開催し環境意識の向上・希少生物保護意識の醸成を行うとともに、パトロール等継続した保全活動に取り組む。